
Almighty

皐月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Almighty

【Nコード】

N2672I

【作者名】

皐月

【あらすじ】

普通の女子高生だったはずなのに…なんでこんな事に…!!!
ああ大嫌いな神様
お願いだから私の生活を返して
ていつか今すぐ返せ!!!!!!!

そこは今より少し先の未来

そこには不思議な力を使える人達がいる

普通の女子高生だったはずなのに…なぜか16歳の誕生日に力が使え

るようになった私

そして私と同じような力を持つ人達が集まる学校へ無理矢理に転校
させられて

これから私の生活どうなっちゃうの!!!!!!!!!!!!!!

プロローグ

どうしてこんなことになってしまったのだろう…

私が、私達がなにをしたというの

ただ、普通に暮らしたかったただけなのに…

神様なんて信じてないけど

もし、もしもいると言っただけなら

私達の愛する子はせめて普通の子供のような幸せを、暮らしを、友人を、世界を

どうか私とあの人の愛する娘を

どうか

守ってください

私の非日常（前書き）

朝は登校の30分前に起きて

急いで支度して

パンをくわえながら早歩き

それが私の始まり

私の非日常

… チュンチュン、チュン……

爽やかな朝

そして静かな朝に一人の少女の声が響く。

「…っ、遅刻する」

時刻は7時30分

彼女は一部の人なら

いや、この地域に住んでいる人たちなら誰でも知っている。

『遅刻女』

そう彼女はよばれている。

その理由は皆さんもわかるだろう、

またはこんなものもある

『時計女』

これは彼女がいつも同じ時間に同じ道を通るから

地元の小学生たちは彼女が通ったら

起きる時間だと思え

そういう習慣がある

元々この辺の子は近くの黄燐小学校に通っていてそこは彼女の登校路にも入っている

彼女が来たら支度し始める

それぐらいがちょうど良いらしい

…これが彼女と彼女の周りのいつもの朝

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2672i/>

Almighty

2010年10月15日21時33分発行